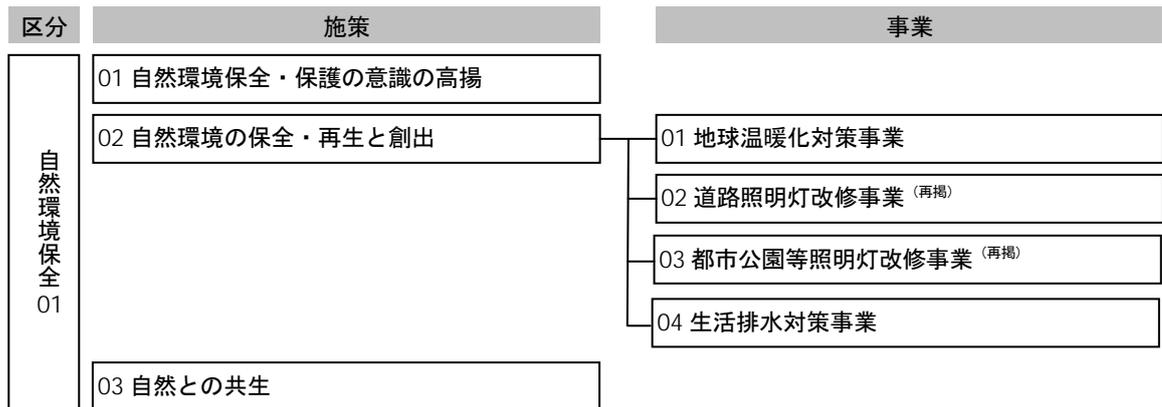


1 自然環境保全

施策の基本的考え方

- 自然を大切にすること意識の高揚と自然保護活動を促進します。
- うるおいを感じる自然環境の保全・創出に努めます。
- 自然と人とが共生できる土地利用を推進します。

施策・事業の体系



02 自然環境の保全・再生と創出

■地球温暖化対策事業 【事業No.03010201】	担当部課係名	環境部	環境保全課・地球温暖化対策担当	ダイヤル	241-4312
			環境保全係		

事業概要

- 市民、事業者及び行政が協働し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の削減を図る。

現況と課題

- 地球温暖化問題は、地球規模における全ての人類が直面している問題であり、地方自治体単位で有効な解決が図られる問題ではないが、市民一人ひとりの意識改革の浸透による、足元からの地道な二酸化炭素排出量削減の積み重ねが非常に重要であることから、地球温暖化対策に係る国や県及び市町村における施策をいかに周知して個人及び事業者単位で取り組んでいくかが重要課題である。

今後の事業展開

- 甲府市地球温暖化対策地域協議会の会員拡大と省エネ対策の普及・啓発。
- 児童・園児を対象とした環境教育の充実・拡大。
- 改正省エネ法に伴う庁内エネルギー使用量の低減の推進。
- 甲府市地球温暖化対策実行計画の策定。
- 技術開発や普及状況等を考慮する中での、クリーンエネルギー設備の設置世帯に対する助成金の検討。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
二酸化炭素排出量削減率(%) (対:平成 10 年度基準)	—	△10	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	10,231		17,411	16,633	16,633	

■道路照明灯改修事業 【事業No.03010202←No.05050201】再掲	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5843
			道路係		

■都市公園等照明灯改修事業 【事業No.03010203←No.03020101】再掲	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課	ダイヤル	223-6101
			公園緑地係		

生活排水対策事業 【事業No.03010204】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ガイリン	241-4312
			公害対策係		

事業概要

- 健全な動植物が生息する自然環境を目指し、公共用水域における良好な水環境の保全のため、更なる水質改善を図る。

現況と課題

- 公共用水域の汚濁の原因となっている生活排水による負荷の低減を図るため、浄化槽設置者に浄化槽の清掃・保守管理・水質検査の3つの義務についての啓発・指導を強化していくことが必要である。

今後の事業展開

- 公共用水域の水質は、本事業により改善傾向を示しているが、生活排水対策を推進していくためには、継続的な事業の実施が重要である。このため、引続き啓発事業、浄化槽の維持管理指導、浄化槽設置補助事業を行い、公共用水域の水質の改善に努めるとともに、浄化槽の水質検査受検率や保守点検・清掃業務の契約率の向上に向けた施策の検討を行っていく。

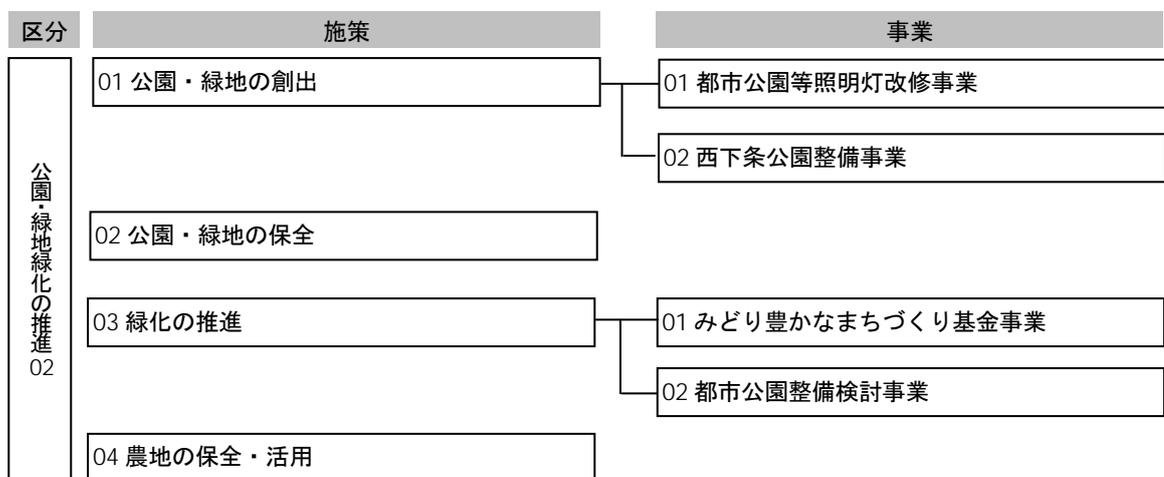
成果指標	実績値		見込み値			目標値		
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	目標値 (H23~25)		
環境基準値の達成 (mg/l)	3.7	5.0 以下						
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)		
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度			
	15,433		15,438	15,393	15,393	46,224		

2 公園・緑地緑化の推進

施策の基本的考え方

- 都市環境の改善や市民のレクリエーション需要に応える都市公園・河川敷緑地等の整備に努めます。
- 健康で文化的な市民生活のために、緑地の保全及び既設公園や動物園の充実に努めます。
- 公共施設及び地域の緑化を推進し、緑豊かな明るい住みよい環境づくりに努めます。
- 市街化区域内やその周辺に広がる農地の保全・活用を図り、緑地の保全に努めます。

施策・事業の体系



01 公園・緑地の創出

■都市公園等照明灯改修事業（省エネ・グリーン化推進事業）【事業No.03020101】	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課	ダイヤル	223-6101
			公園緑地係		

事業概要

- 甲府市が温室効果ガスの排出削減を率先して取り組むことを目的として実施する、省エネ・グリーン化推進事業の一環として、都市公園等の照明灯を省エネ型照明であるLED照明へ交換する。

現況と課題

- LED灯具の単価は従来の灯具の数倍程で、非常に高価である。なお、公園内の照明設備は多くが老朽化しているため、灯具の交換とともに照明灯用柱や地中電線の交換が必要な場合がある。その場合は、照明設備の配置の見直しを検討する必要がある。

今後の事業展開

- 平成24年度以降は、都市公園管理事業の一環として、公園内のトイレの照明灯等についても、LED照明に順次交換を行う。なお、LED照明の市民への普及、啓発を図るため、公園内の照明灯をLEDに交換工事していることがわかる看板を設置するなどを行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
消費電力量の削減量 (kwh)	—	42,321	9,834	—	—	9,834
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	28,000		16,479	—	—	

■西下条公園整備事業 【事業No.03020102】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

事業概要

- 甲府南部工業団地造成事業の一環として造成された当公園を、近隣住民等の日常的な野外休憩スペースなどとして利用できるよう整備するものである。

現況と課題

- 地元関係者等と協議を行いながら、公園として快適に利用できる整備内容を検討する。

今後の事業展開

- 平成23年度 詳細設計、平成24年度 公園整備工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
公園整備率	—	—	—	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	—		11,000	39,000	—	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 緑化の推進

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03020301】	担当部課係名 都市建設部	公園緑地課	ガイライン	223- 6101
		公園緑地係		

事業概要

- 緑の織りなすゆとりあるまちづくりや花のあるまちづくりの推進を図る。

現況と課題

- 花を供給することで、植栽や維持管理を行っているが、さらに花いっぱい運動を推進していくためには、自らが作り育てていくという意識の改革を図る必要がある。

今後の事業展開

- 「みどり豊かな快適都市甲府」の実現に向け、継続して自らのまちは自らの手でつくるという意識の高揚を図る。

成果指標	実績値		見込み値			目標値合計 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
花いっぱい緑いっぱい運動の 推進として花の供給数(株)	112,401	110,000	110,000	110,000	110,000	330,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	10,677		10,677	10,677	10,677	

■都市公園整備検討事業 【事業No.03020302】	担当部課係名 都市建設部	都市計画調整担当	ガイライン	237- 5814

事業概要

- 本市の都市計画公園・緑地については、人口の増大や経済の発展、各種開発計画等に対応して、都市施設の計画決定を行い、計画的に整備を行ってきた。しかし、都市計画公園の中には、都市計画決定後数十年も整備されない公園があり、今後の整備にあたっては、都市計画法に基づく建築制限を長期間課せられている関係者を含めた地域社会との合意形成を図ることが、これまで以上に重要な課題となっている。また、社会経済情勢の変化等によって、その役割や機能が大きく変化したこともあり、都市計画公園・緑地の見直しを行い、効率的・効果的な整備を図る。

現況と課題

- 都市計画決定後、長期未着手のため区域内に多数の家屋が建築され良好な住環境が形成されているため、公園の必要性を含め検証を行う必要がある。

今後の事業展開

- 平成22年度より四ヶ年をかけ、「甲府市緑の基本計画」策定委員会の設置、県との協議、市民との合意形成に向けての住民説明会・パブリックコメントの実施などを経て、「甲府市緑の基本計画」を策定する中で、都市計画公園・緑地の見直しを行う。

成果指標	実績値		見込み値			目標値合計 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
「甲府市緑の基本計画」の 承認 (%)	—	20	50	70	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	—		9,206	3,700	—	

3 景観形成

施策の基本的考え方

- 都市環境の美化を推進し、公共施設の美観の向上や広告物等の景観への調和に努めます。
- 魅力的な都市景観の誘導に努めます。
- 緑地や自然景観の保全に努めます。
- 市民参加による景観形成を促進し、住宅地の良好な景観の確保に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
景観形成 03	01 総合的な景観形成の推進	01 都市基本計画推進事業 (再掲)
	02 都市景観の形成	01 みどり豊かなまちづくり基金事業 (再掲)
	03 自然景観の保全・形成	
	04 市民参加の景観づくり	

01 総合的な景観形成の推進

■都市基本計画推進事業 【事業No.03030101←No.05020101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課 計画係	ダイヤル	237- 5819
--	--------	-------	--------------	------	--------------

02 都市景観の形成

■みどり豊かなまちづくり基金事業 【事業No.03030201←No.03020301】再掲	担当部課係名	都市建設部	公園緑地課 公園緑地係	ダイヤル	223- 6101
---	--------	-------	----------------	------	--------------

4 住宅・住環境・定住促進

施策の基本的考え方

- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 社会的セーフティネットとしての公営住宅の整備活用に努めます。
- 開発許可制度などにより、良好な居住環境の誘導に努めます。
- 融資制度や助成制度などの活用により、市内への定住促進に努めます。
- 住宅耐震化支援制度により建築物の安全性の確保に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
住宅・住環境・定住促進 04	01 まちなか居住の再生	01 まちなか定住促進事業
		02 中心市街地商業等活性化事業 (再掲)
		03 甲府駅周辺土地区画整理事業 (再掲)
		04 甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 (再掲)
		05 都市計画道路整備検討事業 (再掲)
		06 和戸町竜王線整備事業 (再掲)
		07 まちなか健やかサロン運営事業 (再掲)
		08 中心市街地まちづくり会議運営事業 (再掲)
	02 公営住宅ストックの有効活用	01 公営住宅整備事業
	03 良好な居住環境の誘導	01 アスベスト飛散防止対策事業
	04 市内への定住促進	01 まちなか定住促進事業 (再掲)
	05 建築物の安全性の確保	01 木造住宅耐震化支援事業

01 まちなか居住の再生

■まちなか定住促進事業 【事業No.03040101】	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤル	237-5814
			計画係		

事業概要

- 中心市街地（中心市街地活性化基本計画区域）への定住を促進するため、一般住宅の建築及び分譲住宅の購入等に対し補助を行い、中心市街地に居住する世帯数の増加を図り、定住人口を増加させる。

現況と課題

- 対象区域と制度の活用者が限定される中で、中心市街地の活性化が図られるよう、転入者のニーズの把握と施策推進への反映、更には、地域におけるコミュニティの維持・再生が必要であると思われる。なお、平成22年度は、申請者が予定数を上回り、当初の50件に加えて、50件分の予算を9月補正で追加対応した。

今後の事業展開

- 市民や事業者などへの周知を図り円滑な事業の推進に努めるとともに、事業を利用した転入者の意向調査を行う中で、当事業の有効性の検証や今後の中心市街地の活性化事業への反映の参考とする。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
増加居住世帯数(世帯)	34	100	14	24	—	38
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	25,000		7,000	12,000	—	

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.03040102←No.04010103】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

■甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業No.03040103←No.05010101】再掲	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		

■甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 【事業No.03040104←No.05010102】再掲	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		

■都市計画道路整備検討事業 【事業No.03040105←No.05040201】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画調整担当	ダイヤル	237-5814

■和戸町竜王線整備事業 【事業No.03040106←No.05040102】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係		

■まちなか健やかサロン運営事業 【事業No.03040107←No.01050401】再掲	担当部課係名	福祉部	健康衛生課	ダイヤル	237-2586
			保健係		

■中心市街地まちづくり会議運営事業 【事業No.03040108←No.06020102】再掲	担当部課係名	企画部	中心市街地振興課	ダイヤル	237-5319
			計画係		

01 公営住宅ストックの有効活用

■公営住宅整備事業 【事業No.03040201】	担当部課係名	都市建設部	住宅課	ダイヤル	237-5812
			住宅係		

事業概要

- 市営住宅の北嶺荘・竜雲荘・むつみ荘は、昭和30年度から42年度に建設された団地であり、老朽化が著しく、居住面積の狭小、浴室未設置等居住水準の改善が必要である。
このため、3団地の建替を行い、耐震化への対応、居住面積水準の確保等を図るとともに、子育てしやすい居住環境、高齢者・障害者に配慮した住宅を整備し、安心安全で良好な居住環境づくりを行う。

現況と課題

- 平成31年度の建替事業完了を目指している、3団地建替事業基本構想のもと、現在、事業を推進している。
新規入居については、平成18年4月1日から停止し、政策空家としているが、建替に際しての既存入居者の仮住居の確保、他の公営団地への住替え箇所の確保など、移転・住替え状況を勘案しながらの事業実施が必要となっている。
なお、平成22年度については、竜雲荘入居者の住替えを完了した。
3団地の建替は、小学校と団地を一体的に整備するという方針を含め、用地取得並びに、その有効活用など、北新地区の“まちづくり”の観点からの事業推進が求められている。

今後の事業展開

- 北新3団地については、市営団地においても建築年度一昭和30年度から昭和42年度まで一が古く老朽化が著しいため、居住者の安全・安心を確保するために当初の計画に基づき事業を推進していく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
建替え戸数(戸)	—	—	—	—	118	118	118
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	61,574		296,120	578,687	1,383,506	2,258,313	

03 良好な居住環境の誘導

■アスベスト飛散防止対策事業 【事業No.03040301】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課	ダイヤル	237-5828
			建築指導係		

事業概要

- この事業は、本市全ての建物を対象に、アスベスト被害の発生を予防し、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図るため、成分調査や除去費用に対して補助するものである。

現況と課題

- 経済状況の落ち込みにより除去費用を負担する余裕が建物所有者にない。

今後の事業展開

- 甲府市のホームページや広報誌を活用し、本制度を広く市民に周知するとともに、イベント会場でのPR活動などを積極的に進める。

成果指標	実績値		見込み値			目標値合計 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
除去等費用の補助件数 (件)	3	9	12	12	—	24
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	8,600		8,600	8,600	—	

04 市内への定住促進

■まちなか定住促進事業 【事業No.03040401←No.03040101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課	ダイヤル	237-5814
			計画係		

05 建築物の安全性の確保

■木造住宅耐震化支援事業 【事業No.03040501】	担当部課係名	都市建設部	建築指導課	ダイヤル	237-5828
			建築指導係		

事業概要

●大規模地震による木造住宅の倒壊から、市民の生命及び財産等を保護するとともに、避難路及び緊急輸送路等の確保による被害拡大の抑制を目的として、地震に強い安全で安心なまちづくりを目指す。

現況と課題

●大規模地震の発生が懸念されており、建築物の耐震化率*の向上が急がれている。本市においては、無料耐震診断から耐震改修費の補助までの一貫した支援体制が整っているが、耐震改修には多くの自己資金が必要となることもあり、申し込みは伸び悩んでいる。

今後の事業展開

●引き続き、ホームページや広報誌を活用して啓発活動を行っていくとともに、「耐震相談窓口」を建築指導課に常設し、各種イベント等に「出張耐震相談窓口」を開設する。また、自治会単位ごとのきめ細かな説明会を通して事業の啓発に務め、粘り強く耐震化を進めていく。
●甲府市耐震改修促進計画に基づく耐震化の数値目標の実現に向け、計画に位置づけた取り組みを趣向を変えながら、大規模地震対策の緊急性を徹底するなど市民意識の醸成に努める。

成果指標	実績値		見込み値		目標値			目標値合計 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度		
耐震改修費の補助戸数	8	16	24	24	24		72	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)	
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度		
	20,640		20,640	20,640	20,640	20,640	61,920	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

5 上水道

施策の基本的考え方

- 恵まれた水源を安心して未来へとつなぎ、安全でおいしい水道水の供給に努めます。
- 危機管理体制の強化を図るとともに、水道施設耐震化計画に基づく地震対策、浄水場等主要施設の危機管理対策に努めます。
- 経営基盤の強化、事業用資産の適正な管理に努めます。
- 親しみやすくわかりやすい情報の提供、情報共有協働による透明性の高い事業経営、利便性の高いサービスの提供に努めます。
- 環境会計の導入、効率的な水運用、環境負荷の軽減と新エネルギーの活用に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
上 水 道 05	01 安心・快適な生活環境の創造	
	02 危機管理対策の充実	
	03 持続可能な事業経営	
	04 満足度の高いお客様サービスの向上	
	05 環境に配慮した事業の推進	

6 下水道

施策の基本的考え方

- 汚水管きよの整備、公共用水域の水質保全に努めます。
- 危機管理体制の強化を図るとともに、雨水管きよの整備による浸水被害の解消、下水道施設の地震対策、合流式下水道*改善に努めます。
- 経営基盤の強化、事業用資産の適正な管理に努めます。
- 親しみやすくわかりやすい情報の提供、情報共有協働による透明性の高い事業経営、利便性の高いサービスの提供に努めます。
- 環境会計の導入、環境負荷の軽減と新エネルギーの活用に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
下水道 06	01 安心・快適な生活環境の創造	
	02 危機管理対策の充実	
	03 持続可能な事業経営	
	04 満足度の高いお客様サービスの向上	
	05 環境に配慮した事業の推進	

7 河川・水路

施策の基本的考え方

- 一級河川の改修促進に努めます。
- 計画的な整備によって浸水や冠水の防止に努めます。
- 良好な水辺環境形成に向けた河川敷整備に努めます。
- 河川美化に向けた啓発に努めます。
- 水路等の機能確保と財産の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
河川・水路 07	01 河川の改修	01 一般河川改修事業
	02 浸水地域の解消	
	03 水辺空間の保全・整備	
	04 河川美化・浄化の推進	
	05 水路等の維持・管理	

01 河川の改修

■一般河川改修事業 【事業No.03070101】	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237-5842
			河川係		

事業概要

- 普通河川、生活関連水路の改修整備を行い、住民の生活環境の向上及び浸水被害から財産保全を図る。

現況と課題

- 豪雨時には排水先の一級河川の増水によって排水がスムーズにできずに上流の一般河川・水路が溢水する状況がある。このように市内一級河川の改修の遅れにより、内水排除に支障をきたしている地区では、効率的な排水系統の整備に苦慮している。

今後の事業展開

- 今後も優先度や事業の効果を考慮しながら継続して事業を進める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
河川改修実施率(%) (年度施工延長/年度目標延長)	191	86	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	86,981		84,955	48,813	48,813	

8 循環型社会の構築

施策の基本的考え方

- 分別回収の推進とリサイクル化（再資源化）の推進を図ります。
- ごみ減量化の啓発活動と新たな回収システムの構築に努めます。
- 市民意識の高揚を図るため、環境に関する情報発信に努めます。
- 次期ごみ処理施設の建設推進を図ります。
- 処理施設の適正管理に努めます。
- 収集体制の充実と処理施設の適正管理に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
循環型社会の構築 08	01 循環型社会の構築	01 環境リサイクルフェア事業 02 明るくきれいなまちづくり基金事業 03 ごみ減量と資源リサイクル事業
	02 ごみの減量化と発生抑制	01 環境リサイクルフェア事業（再掲） 02 明るくきれいなまちづくり基金事業（再掲） 03 ごみ減量と資源リサイクル事業（再掲）
	03 リサイクルプラザの活用	
	04 ごみ処理体制の整備	
	05 ごみ処理施設の管理・運営	
	06 し尿処理の適正な推進	

01 循環型社会の構築

■環境リサイクルフェア事業 【事業No.03080101】	担当部課係名	環境部	環境保全課	ダイヤル	241-4312
			環境保全係		

事業概要

- かけがえのない恵み豊かな環境を守り、次の世代へと引き継いでいけるよう、市民に対し環境問題に関する情報提供の機会として、市民の理解と啓発を図り、環境配慮型の行動が家庭を通じ、社会全体へと広がっていくことを目的とする。

現況と課題

- 来場者に対し、環境問題に関する情報提供の機会として理解と啓発は十分に図られていると考えているが、更なる環境問題への意識啓発を図る必要があることから、アンケート調査の分析結果を踏まえた、新たな企画等を検討する必要がある。

今後の事業展開

- 引き続き、環境問題に積極的な団体、企業、NPO等を募るとともに、新たな企画等を取り入れ、より多くの市民に対し、環境問題に対する意識の高揚が図られるよう努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
来場者数 (人)	8,000	8,500	8,500	8,500	8,500	25,500
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	1,000		1,000	1,000	1,000	

■明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業No.03080102】	担当部課係名	環境部	減量課	ダイヤル	241-4327
			減量係		

事業概要

- ごみの減量に対する市民意識の高揚を図るとともに、ごみの資源化、再生利用等のごみ減量施策を推進するため「甲府市明るくきれいなまちづくり基金」を活用し、甲府市リサイクル推進員連絡協議会*と協働して、市民自らの自発的なごみ減量と資源リサイクルを図る。

現況と課題

- 地域ぐるみとした取り組みの確立

今後の事業展開

- より一層のごみ減量と資源リサイクルを推進するため、リサイクル推進員連絡協議会を通じ、地域住民のごみ減量と分別意識の高揚に努める。
- 不燃ごみの排出における指定袋及びごみ処理券による適正排出への周知と指導
- 減量目標 480g達成に向けて「ミックスペーパーの分別」や「生ごみのひと絞り」等のごみ減量に向けた地域住民への周知啓発と徹底

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
地域計画に基づく 家庭系ごみ量(ト)	57,512	52,976	52,711	52,448	52,186	52,186
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	5,200		5,200	5,200	5,200	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03080103】	担当部課係名	環境部	減量課	ガイリン	241-4327
			減量係		

事業概要

- 地球環境に配慮した施策の更なる推進により分別排出の一層の徹底を図るとともに、甲府・峡東地域循環型社会形成推進地域計画に基づく減量目標達成のための取り組みを展開していく。

現況と課題

- 減量目標である1人1日あたり生活系可燃ごみ排出量480g達成に向けて、更なる啓発運動の展開
- 市民にとって、より排出しやすい効率的な回収システムの構築
- 廃棄物の発生抑制に向けた、拡大生産者責任の原則の明確化

今後の事業展開

- 持続可能な資源循環型社会の構築に向けては、行政・市民・事業者が個々の責任と役割を果たす中で、廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化の促進可能な環境整備に努めることが大切である。その意味からも、指定袋による排出、ミックスペーパー・廃食油回収事業や有価物・資源物回収事業などの実践的事业や「ごみへらし隊」などによる市民意識の向上、低年齢からの環境意識教育などの啓発事業といった、ごみ減量化・資源化に向けた総合的な施策を実施している本事業は極めて必要性が高く、将来に亘ってより一層の拡大を図っていくことが必要である。
- 啓発、指導業務を更に充実強化する中で、市民意識及び事業者意識の向上を図る。
- 次期ごみ処理施設建設に伴い、4市共同処理との整合を図るため排出区分の見直しを図るとともに、市民にとってより排出し易い効率的な回収方法を構築していく。
- より一層のごみ減量と資源リサイクルを推進するため、容器包装その他プラスチックの分別回収を検討する。
- 排出者の利便性向上のため、資源物24時間ステーションを拡充する。
- 新たな減量施策として陶磁器食器リサイクル事業を試行する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
家庭系総ごみ排出量削減率(%) (対:平成19年度基準)	△17.4	△22.7	△23.1	△23.5	△23.9	△23.9
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	442,981		433,892	435,467	435,467	

02 ごみの減量化と発生抑制

■環境リサイクルフェア事業 【事業No.03080201←No.03080101】再掲	担当部課係名	環境部	環境保全課	ガイリン	241-4312
			環境保全係		

■明るくきれいなまちづくり基金事業 【事業No.03080202←No.03080102】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ガイリン	241-4327
			減量係		

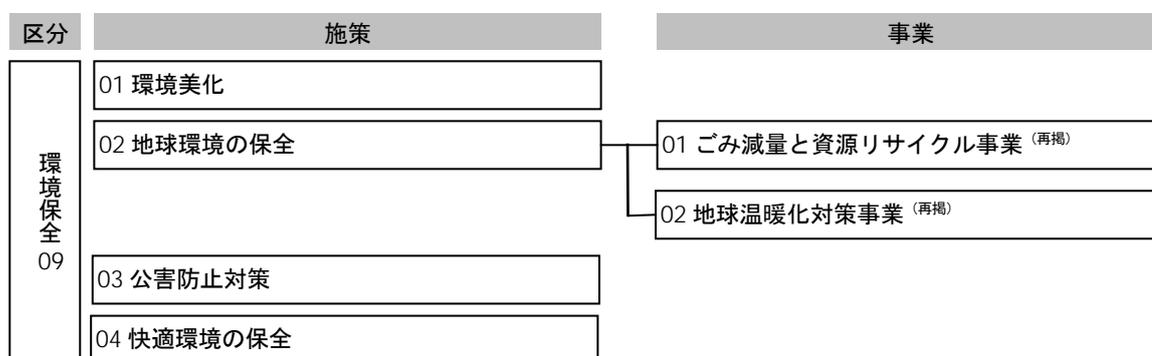
■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03080203←No.03080103】再掲	担当部課係名	環境部	減量課	ガイリン	241-4327
			減量係		

9 環境保全

施策の基本的考え方

- 市民参加による河川清掃、不法投棄対策への取り組み等の環境美化活動の推進に努めます。
- 環境基本計画*を推進し、地域からの地球環境保全や環境教育の充実、新エネルギー対策の推進に努めます。
- 特例市*の権限を生かした、公害防止体制の充実や発生源監視体制の充実、苦情処理体制の充実に努めます。
- 環境衛生として、消毒機の貸出、飼い犬・野犬対策の指導・徹底に努めます。

施策・事業の体系



02 地球環境の保全

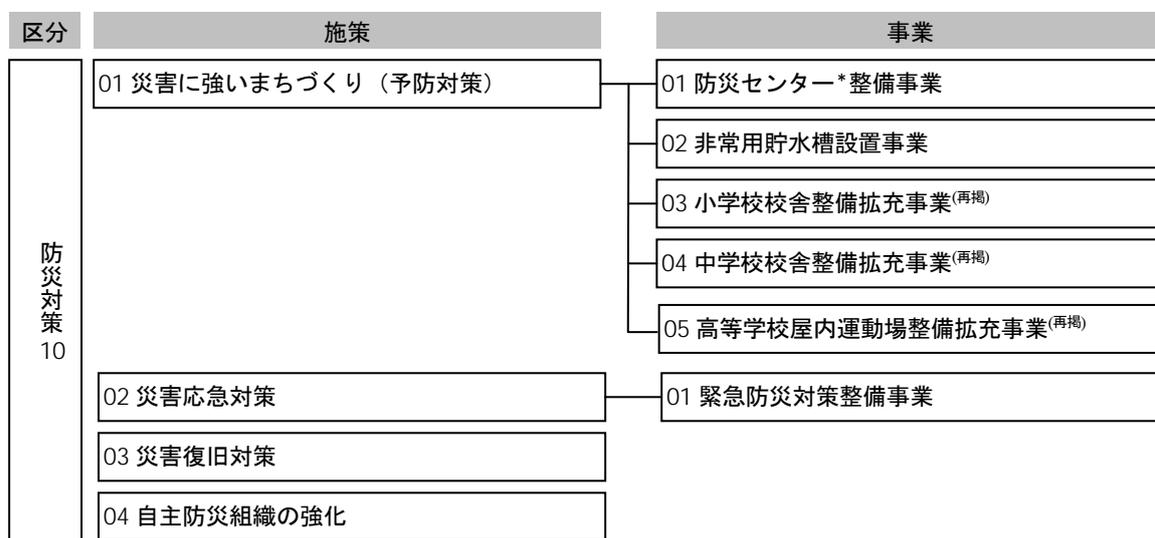
■ごみ減量と資源リサイクル事業 【事業No.03090201←No.03080103】再掲	担当部課係名	環境部	減量課 減量係	ダイヤル	241-4327
■地球温暖化対策事業 【事業No.03090202←No.03010201】再掲	担当部課係名	環境部	環境保全課・地球温暖化対策担当 環境保全係	ダイヤル	241-4312

10 防災対策

施策の基本的考え方

- 地域防災計画の充実、防災意識の向上、建物等の耐震化・不燃化の啓発促進、避難路・避難場所の確保、急傾斜地等危険地対策の推進、情報システムの充実、緊急医療体制の確立、防災倉庫の整備充実、非常用貯水槽の整備充実、災害ボランティアの育成に努めます。
- 応急物資の確保、通信手段の確保、迅速かつ適切な救助・救急、医療及び消火活動、ライフライン*・交通施設等の応急復旧に努めます。
- ライフライン*の復旧対策、被災者の自立支援に努めます。
- 自主防災組織*の強化、防災意識の高揚に努めます。

施策・事業の体系



01 災害に強いまちづくり（予防対策）

■防災センター整備事業 【事業No.03100101】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			防災施設係		

事業概要

- 大規模地震の発生等に備え、防災情報等の収集・発信を行う防災行政用無線の更新と、防災行政用無線を活用した防災情報システムの構築等を図り、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するための環境整備を行う。

現況と課題

- 防災行政用無線は、設置から30年が経過して老朽化が進んでいることから、故障率が年々高くなっている。
- 同報系無線は、旧甲府市（本庁局）、旧中道町（支所局）及び旧上九一色村（出張所局）の間を暫定的に電話線を利用して接続しているため、大規模地震の発生等により断線して利用ができなくなる可能性がある。また、移動系無線は、旧3市町村ごとにそれぞれの電波が割り当てられており、通信可能エリアも旧市町村ごとに限定されていることから、本庁局から支所局及び出張所局への通信が不可能となっている。このようなことから、全市内で通信可能な防災行政用無線の整備が必要である。

今後の事業展開

- 防災行政用無線の更新工事等は、新庁舎の建設に合わせて平成23年度から平成25年度の3カ年で実施する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
防災センター整備事業の進捗率(%)	30	35	50	85	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	1,954		309,500	1,324,400	244,000	

■非常用貯水槽設置事業 【事業No.03100102】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			防災施設係		

事業概要

- 非常用貯水槽を計画的に設置し、大規模地震等の大規模災害発生時に必要となる非常用飲料水を確保する。

現況と課題

- 今後30年以内の発生確率が87%と非常に高い東海地震等の大規模災害に備え、早期に、非常用飲料水の確保を行う。

今後の事業展開

- 非常用貯水槽の予定設置場所における建物の建築計画と整合性を図りながら、事業を進める。
- 平成23年度（千塚小）、平成24年度（新庁舎）に1基ずつ設置し、事業を完了する予定である。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
防災計画に対する非常用貯水槽の設置率(%)	87	91	95	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	75,000		80,000	58,000	—	

■小学校校舎整備拡充事業 【事業No.03100103←No.02010601】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤルイン	237-5862
			建築係		
■中学校校舎整備拡充事業 【事業No.03100104←No.02010602】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤルイン	237-5862
			建築係		
■高等学校屋内運動場整備拡充事業 【事業No.03100105←No.02020102】再掲	担当部課係名	都市建設部	建築営繕課	ダイヤルイン	237-5862
			建築係		

02 災害応急対策

■緊急防災対策整備事業 【事業No.03100201】	担当部課係名	企画部	防災対策課	ダイヤルイン	237-5331
			地域防災係		

事業概要

- 地域防災力強化のため、住民が行う初期消火活動に必要な消火栓用器具一式を入れた格納箱を消火栓毎に設置する。
- 地域の防災活動を活性化させるため、防災リーダーの指導育成研修会を通じて、防災リーダーの自主性を育てるとともに能力の向上を図る。
 - ・自主防災組織が災害発生時にいち早く対応するため、必要な防災資機材等の確保を行い、その使用方法の訓練を実施する。
 - ・災害発生時に必要となる備蓄非常用食糧等に関して必要量を確保する。
 - ・新規に自主防災組織を結成した自治会に、地域における防災態勢の強化を図るために補助金を交付している。

現況と課題

- 大規模災害発生時に必要となる防災資機材等の整備について強い要望がある。
- 消火栓用器具一式を入れた格納箱は、老朽化や破損等が著しくその維持管理費が増加している。

今後の事業展開

- 備蓄されている防災資機材等については、計画的に点検、修理していく。
- 災害時に自主防災活動が迅速に行えるよう、防災倉庫を設置し、防災資機材等を配備していく。
- 防災リーダーの指導育成研修会に豊富な知識を持つ有識者の講義などを取り入れ、自主防災組織の育成・強化をさらに図っていく。

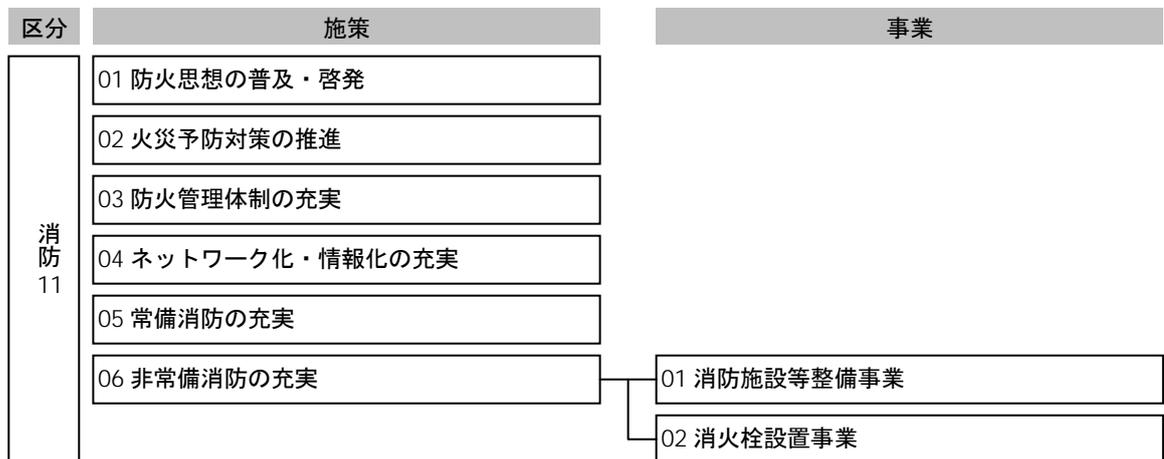
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成23年度	平成24年度	平成25年度	
消火栓器具格納箱一式の設置率(%) (消火栓器具格納箱数/消火栓数)	平成21年度 57	平成22年度 58	平成23年度 59	平成24年度 60	平成25年度 61	61
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	26,049		19,728	19,728	19,728	

1 1 消防

施策の基本的考え方

- 火災予防に向けての防火思想の啓発に努めます。
- 予防・査察体制の強化、危険物等の安全指導の充実に努めます。また、住宅火災予防対策として、住宅用火災警報器等の設置推進に努めます。
- 事業所などの防火管理体制の充実に向けた指導に努めます。
- 高機能消防指令センターを活用し、住民の安心・安全に努めます。また、庁内ネットワークを活用し、効率的な消防行政の推進に努めます。
- 消防施設及び装備の強化に努めます。
- 消防団車両及び資機材の整備・充実、消防団員の確保と資質向上、耐震性消防水利施設の整備に努めます。

施策・事業の体系



06 非常備消防の充実

■消防施設等整備事業 【事業No.03110601】	担当部課係名	消防本部	警防課・人事課	ダイヤル	222-4119
			警防係・消防団係		

事業概要

- 災害時に有効に活用できるよう整備するとともに、市民の生命・身体及び財産を守り、被害を最小限に抑えることを目的とする。

現況と課題

- 合併により、積載車及び小型動力ポンプ各8台が増加し、さらに更新サイクルが長期化するため、更新台数を増加する必要がある。
また、耐震性貯水槽の設置にあたり、官地及び市有地等、設置場所の確保及び工事費の増額が課題となっている。

今後の事業展開

- 各分団に配備してある小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプを計画的に更新するとともに、常時良好に運用できるよう点検、整備を図る。
- 耐震性貯水槽は、災害発生時に最も有効な水利であり、設置を継続的に実施することにより、市民生活の安全が確保できるという観点から、継続的な事業推進が必要である。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
耐震性貯水槽設置進捗率 (設置延べ数/設置計画数) (%)	94	95	96	98	100		100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	40,489		56,417	62,790	62,790	181,997	

■消火栓設置事業 【事業No.03110602】	担当部課係名	消防本部	警防課	ダイヤル	222-1269
			警防係		

事業概要

- 市街地及び周辺地域に消火栓を設置することにより、火災発生時における住民による初期消火活動が容易になり、消防隊の水利部署により有効に火災防衛ができる。

現況と課題

- 消防水利の基準に基づき計画的に設置をしているが、住宅密集地等の道路幅が狭く、消防車両が進入出来ない地域や、水道配管の口径が消防水利の基準に適合しない地域など、消火栓を設置できない地域がある。

今後の事業展開

- 消火栓設置事業については、緊急に整備を要する設置箇所(50箇所)を平成20年度から平成22年度までの3ヵ年整備計画(50栓設置)により、事業を実施しているところであるが、消防隊による実際のホース延長など図面上の設置計画だけでは実情にそぐわない箇所や、宅地開発、道路拡幅工事などにより消火栓の設置必要箇所の増加が見込まれるため、引き続き事業の推進が必要と思われる。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
消火栓設置進捗率 (当該年度の実績/当該年度の目標) (%)	88.2	100	100	100	100		100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	15,884		9,130	8,360	8,360	25,850	

1 2 防犯対策

施策の基本的考え方

- 犯罪や非行のない明るい社会を築くために市民一人ひとりの防犯意識の向上に努めるとともに、街路灯の経費助成を行うなど犯罪を誘発しない環境づくりに努めます。
- 関係機関との連携による防犯体制の強化に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
防犯対策 12	01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）	01 街路灯助成事業
		02 学校防犯対策事業（再掲）
	02 防犯体制の強化	01 街路灯助成事業（再掲）
		02 学校防犯対策事業（再掲）

01 地域防犯力の向上（地域防犯活動の促進・支援）

■街路灯助成事業 【事業No.03120101】	担当部課係名	市民生活部	市民対話課	ダイヤル	237-5298
			地域振興係		

事業概要

- 防犯及び交通安全対策のために、自治会が維持管理している街路灯に要する経費（電気料、設置費、撤去費、及びLED灯設置交換費）の補助を行い自治会負担の軽減を図り、安全で明るい地域社会の形成に寄与する。

現況と課題

- 自治会が設置している街路灯及び新たに設置する街路灯を地球環境（CO2削減）にやさしいLED灯に移行していくことが求められている。

今後の事業展開

- 自治会連合会を通じて単位自治会が設置する街路灯について、新たにLED灯を設置した場合の補助要項を追加し、LED灯化を促進していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
助成対象灯数	21,022	21,324	21,536	21,750	21,967	65,253
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	45,818		48,912	48,832	47,205	

■学校防犯対策事業 【事業No.03120102←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課	ダイヤル	223-7322
			学事係・学務係		

02 防犯体制の強化

■街路灯助成事業 【事業No.03120201←No.03120101】再掲	担当部課係名	市民生活部	市民対話課	ダイヤル	237-5298
			地域振興係		

■学校防犯対策事業 【事業No.03120202←No.02010501】再掲	担当部課係名	教育部	学事課・学校教育課	ダイヤル	223-7322
			学事係・学務係		

1 3 消費生活

施策の基本的考え方

- 消費者が自主的合理的に行動できるよう消費者の自立支援に努めます。
- 消費者に対し、消費者教育の充実に努めます。
- 消費者相談の充実に努め、適切かつ迅速な処理を進めます。
- 消費者モニター制度*の推進と適正な計量の実施の確保に努めます。

施策・事業の体系

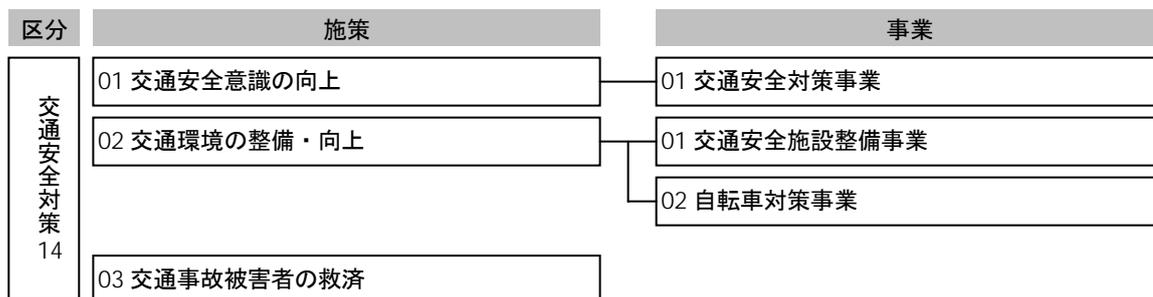
区分	施策	事業
消費生活 13	01 消費者利益の擁護及び増進	
	02 消費者教育の推進	
	03 消費者相談の充実	
	04 適正な計量の実施	

1 4 交通安全対策

施策の基本的考え方

- 関係機関との連携による交通安全意識の向上に努めます。
- カーブミラーなど各種交通安全施設の点検・整備、甲府市交通安全計画に基づく諸施策の推進に努めます。
- 交通災害共済への加入促進と交通事故相談体制の充実に努めます。

施策・事業の体系



01 交通安全意識の向上

交通安全対策事業 【事業No.03140101】	担当部課係名	市民生活部	消費生活センター	ダイヤル	237-5303
			交通安全係		

事業概要

- 正しい交通ルールと交通マナーの徹底と交通安全意識の高揚を図る。
- 交通安全施設の整備を推進する。

現況と課題

- 平成22年度は全体の事故件数は減少したものの、死亡事故が大幅に増加してしまい、中でも歩行者と車両の関係する事故の割合が高く、また、65歳以上の高齢者が関係する交通事故は年々増加している。また近年、道路交通法をはじめとした関係法規の改正等の整備が進められており、市民への周知が求められる。このような中で、さらなる交通事故防止を強力に推進し、市民一人一人が思いやりを持って、命の尊さを認識し交通安全に真剣に取り組むよう、交通安全思想の普及と認識の徹底を図ってゆく必要がある。
- 交通安全施設の整備については、厳しい財政事情の中、地元の要請にも十分に答えられない状況にあり、設置申請の受理から設置までの期間が長期化する傾向にある。

今後の事業展開

- 山梨県や地元の警察署をはじめとする関係機関及び団体との連携・協調のもと、春・秋の全国交通安全運動をはじめ、各種の交通事故防止事業等に参画するとともに、幼児・児童・小学校PTA及び高齢者を対象に交通安全教室を充実し、交通安全意識の高揚に努める。
- カーブミラー・自発光式交差点鏡の交通安全施設の整備を進めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
甲府市内における交通事故発生件数	2,167	2,122	1,680	1,680	1,680	1,680
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	6,938		6,680	7,023	7,023	

02 交通環境の整備・向上

交通安全施設整備事業 【事業No.03140201】	担当部課係名 都市建設部	道路河川課	ガイライン 237-5843
		道路係	

事業概要

- 市民の交通安全の確保及び交通事故防止を目的に、甲府市が管理する道路における、交通安全施設の整備充実を図る。

現況と課題

- 交付金対象事業を主とするため、事業対象の範囲、規格が制限される。

今後の事業展開

- 市民生活における交通上の安全と快適性に貢献する事業として、交付金を活用し、交通安全担当や警察関係者とも協議を行い、必要とされる交通安全施設の設置を年次的に推進する。
また、道路の新設・改良等により道路案内標識の設置・変更が必要な箇所に、案内標識の設置・改良を行う。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 25 年度	
交通安全施設の執行率(%) (設計金額/予算金額)	103	100	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度		
	57,608		55,707	57,608	57,608	170,923	

自転車対策事業 【事業No.03140202】	担当部課係名 市民生活部	消費生活センター	ガイライン 237-5303
		交通安全係	

事業概要

- 市営駐輪場を利用することで甲府駅周辺及び中心商店街の放置自転車を解消し、まちの景観の保全や通行障害の解消に繋げる。

現況と課題

- 中心街の市営駐輪場は、買い物客が店舗前に駐輪して買い物をするため、利用が少なく、放置自転車禁止区域を設置するには、商店街の理解と協力が必要である。
- 安価で買える自転車の増加に伴い、長期放置自転車が増加している。

今後の事業展開

- 道路管理者と連携を図り、歩道や道路の放置自転車の撤去や市営駐輪場内の放置自転車等の実態を定期的に把握し、長期放置自転車の撤去を行う。
- 自転車利用マナー向上の啓発を図る。
- 桜町市営駐輪場については、新たな施設の開設も含め、より利便性の高い代替施設の確保に取り組んでいく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 25 年度	
市営駐輪場の利用率(%) (利用台数/収容可能台数)	47.7	50.5	80	80	80	80	80
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度		
	4,457		5,207	5,238	5,238	15,683	